

勉強する習慣を身に付けるためには

Q1

ゲームに夢中で「宿題をしなさい」と何度注意しても、なかなか机に向かって勉強しません。どうすれば、勉強する習慣が身に付くのでしょうか？

A1

この時期は、遊びたいという気持ちが強い時期です。まずは、勉強できる環境・雰囲気づくりが大切です。例えば、ゲームをする時間を決めたり、部屋を片付けたり、子どものそばで一緒に本や新聞を読んだりしてみましょう。

 Point

- テレビ等は消そう。
- ゲーム機の使用についてルールを決めよう。
- まず、机に向かって勉強ができたことをほめよう。
※その場でほめる(間をおかない)、具体的な行動をほめる。



多忙な毎日の中、保護者が座って読書なんて思わずに、ほんの20分、子どものそばで腰を落ち着けることだけでも環境づくりにつながります。そうすると子どもも勉強に向かうことができるようです。

ふりかえってみよう

子どもをほめることが増えましたか？

子どもの変化を読み取るためには

Q2

子どもが学校に行きだしてから、日頃の様子に変化が見られても、その理由を読み取ることが難しくなってきた不安に思っています。どうしたらよいのでしょうか？

A2

この時期は、子どもが自分の世界をつくり始める時期です。子どもとの距離が徐々にできて、保護者自身が不安になるかもしれませんが、心配しすぎて無理に探ろうとせず、子どもが自分から話し出しやすい雰囲気を作ってみましょう。また、学校の先生に相談し、子どもの様子も聞いてみましょう。

 Point

- 無理に聞き出そうとすれば心を閉ざします。
- 声かけは「大丈夫よ」「頑張ったね」「すごいね」などでオッケー。
- 学校の先生と情報交換しよう。



「ちゃんとやれてるかな」「大丈夫かな」という大人の心配は必ず子どもの心に伝わり、感情を秘めてしまいます。子どもを信じ、日々の暮らしの中で子どもが感動するような出来事を共有し、豊かに語り合うことできっと気持ちが通じ合います。

ふりかえってみよう

今日一日、子どもと話したい感動(出来事)をいくつ発見できましたか？

友達ができないときは

Q3

入学後(クラス替え後)、子どもに新しい友達がなかなかできません。どうしたらよいのでしょうか？

A3

この時期は、子どもの生活する世界が急に大きく広がっていく時期で、環境の変化が著しく、慣れるのが大変です。また、まわりの子どもたちとの関係の持ち方はそれぞれの個性によって異なります。友達がいないことに焦らず、子どもとよく話し、子どもに自信を持たせましょう。また、学校の先生にも相談してみましょう。

 Point

- 子どもの個性を大切にしよう。
- 子どもを様々な角度から見よう。
- あせらずゆっくり待とう。



例えば話すことが苦手でも、黙って人の話を聞くことが長所になることもあります。その子どもの「らしさ」が生かされるように、学校の先生と相談しながら個性を伸ばし、支援することが大切です。

ふりかえってみよう

子どもを多面的に見ていますか？

友達との仲でトラブルがあったときは

Q4

学校で子どもが友達をたたいて(友達にたたかれて)いるようで子どもの様子が心配です。どうしたらよいのでしょうか？

A4

この時期は、自分の気持ちを言葉で説明するのが難しい時期でもあります。子どもを理解しようとする姿勢で、まずはゆったりとした気持ちで子どもと話しましょう。また、学校の先生にも相談してみましょう。

 Point

- 話を聞く時は、急がずに子どもの心に寄り添おう。
- 学校のことは、まずは先生と連携を。
- PTA活動に参加するなど、保護者同士のネットワークも大切に。



子どもの行動には、何か理由があるはずですが、日頃から子どもに対して「必ず守ってあげるから」という気持ちで接すれば、子どもにも伝わりいろいろと話してくれるはずですが。また、学校との繋がりや保護者同士の交流があれば、問題解決がスムーズにいけます。

ふりかえってみよう

日頃からじっくり子どもの話が聞けていますか？